

地震発生時の行動

地震によって生じる災害には、建物倒壊、火災発生、土砂崩れ、液状化現象などがあり、海岸では津波の心配もあります。

地震はいつどこで発生するか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてず適切な行動をとるために以下の行動を覚えておきましょう。

地震発生

地震発生時の行動パターン

緊急地震速報

- **落ち着いて、自分の身を守る**
まずは身を守ることを優先し机の下などにいる。
- **すばやく火の始末**
揺れが激しいときは無理をせず、大きな揺れがおさまってから火の始末をする。
- **ドアや窓を開けて逃げ道を確保する**
金属扉では揺れがおさまったあと動かなくなることがある。

火元を確認し、出火していたら初期消火

家族の安全を確認

靴をはく

ガラスの破片などでけがをしないように。

非常用持出袋 (非常持出品) を手近に置く

余震に注意

大きい揺れがおさまった後に、小さな揺れが起こることが多いので注意が必要。

隣近所の安否を確認

特に一人暮らしの高齢者や、要配慮者がいる家には積極的に声をかけて安否を確認。

子どもを迎えに行く

自宅を離れるときは、行き先を書いたメモを目立つ場所に残す。

さらに出火防止を

ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る (通電火災防止)。

消火・救出活動

近隣住民と協力して消火や救出活動をする。

テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認

家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

家屋倒壊のおそれがある場合は避難所で生活する

生活必需品は自己備蓄でまかなう

災害情報・被害情報の収集

引き続き余震に注意

集団生活のルールを守る

助け合いの心を忘れずに

地震発生からの行動!!

まずはとにかく「身を守る」!!

緊急地震速報を受ける、大きな揺れを感じるなどした場合は、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。

慌てて外に飛び出さないこと!



津波や土砂災害の危険が予想される地域ではすぐに避難する



テレビ・ラジオ・インターネットなどで正しい情報を確認



緊急地震速報が出されたら、身の安全を最優先に考えた行動を!

緊急地震速報は、地震の発生直後に震源近くで地震波をキャッチし、強い揺れが始まる直前に知らせる情報です。最大震度5弱以上が推定される場合に、テレビやラジオ・スマートフォンなどを通じて知らせます。緊急地震速報を見聞きしてから揺れがくるまでの時間は、わずか数秒から数十秒しかありません。その短い時間に、身の安全を守ることを最優先に考えた行動をとりましょう。

※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります!

1~2分

3分

5分

10分

数時間

1~3日

避難生活では

いろいろな場所での対応の仕方

地震は前ぶれなく急にやってきます!

地震から命を守るために、いざという時のとっさの避難行動や安全でスムーズに避難するための方法を日頃から考えておきましょう。



周りに気をつけよう

塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。



ブロック塀などから離れる

古いブロック塀は、劣化や鉄筋の不足等により地震や風水害により倒壊のおそれがあります。また、新しいブロック塀でも、現行基準に適合していない場合がありますので安全点検をお願いします。

※佐賀県ホームページ「ブロック塀安全点検チェックポイント表」よりチェック

家の中

- 頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- ガス器具、ストーブなどの火を消しましょう。(元栓を締める)
- 電気プレーカーを落としましょう。

人が大勢いる所

- あわてて出口に向かって走り出さないで、係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

スーパー等

- 頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。
- 壁や太い柱に身を寄せましょう。
- あわてて出口に殺到せず、係の指示に従いましょう。
- 避難は、階段を使いましょう。

エレベーター

- すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階で降りましょう。
- 閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。

オフィス

- カバンなどで頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- 本棚などの転倒に注意しましょう。

地下街

- 停電になると非常用照明灯がつかまず、落ち着いて行動しましょう。

地震への備え

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。

いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。

また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。



屋外の地震対策

屋根

- ・アンテナ、看板などは、針金などで補強する。
- ・トタンがめくれているか。
- ・瓦のひび・割れ・はがれがないか。

窓

- ・窓枠のがたつきはないか。
- ・雨戸のがたつきはないか。

雨どい

- ・雨どいに落ち葉などが詰まってないか。
- ・継ぎ目はすれや塗装のはがれ、腐りはないか。

ペランダ

- ・植木鉢や物干し竿など、落下の危険や飛散の危険のあるものはないか。

外壁

- ・壁に亀裂はないか。

屋内対策(家財)

- ・貴重品や思い出のものはすぐに持ち出せるようになっていないか。
- ・濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

排水溝

- ・排水溝にゴミや土砂が詰まっていないか。

その他

- ・商店などでは看板のぐらつきがないか。
- ・ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- ・庭木には添え木をしているか。
- ・ブロック塀はくずれそうにないか。
- ・プロパンガスボンベは鎖でしっかり固定しているか。

屋内の地震対策

家具が倒れないように固定しましょう

タンスやテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

L字金具で固定する

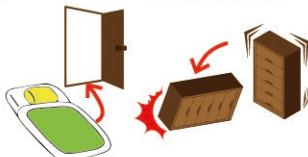
つなぎ目は金具で連結する

チェーンで固定する

壁を補強して金具で留める

家具の配置に注意しましょう

寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。



家の耐震性を確認し、耐震化をしましょう

■ 「誰でもできるわが家の耐震診断」が日本建築防災協会より作成されています。自宅の耐震性能を診断し耐震化をしましょう。(一般財団法人日本建築防災協会ホームページへ)

■ 小城市では、市内木造住宅の所有者の方が実施する、住宅耐震診断・耐震改修の費用の一部補助があります。また、耐震改修を行った住宅には、固定資産税の減額制度などあり、工事を行う前に、事前に相談・申請などをおこなってください。詳しくは、小城市ホームページへ